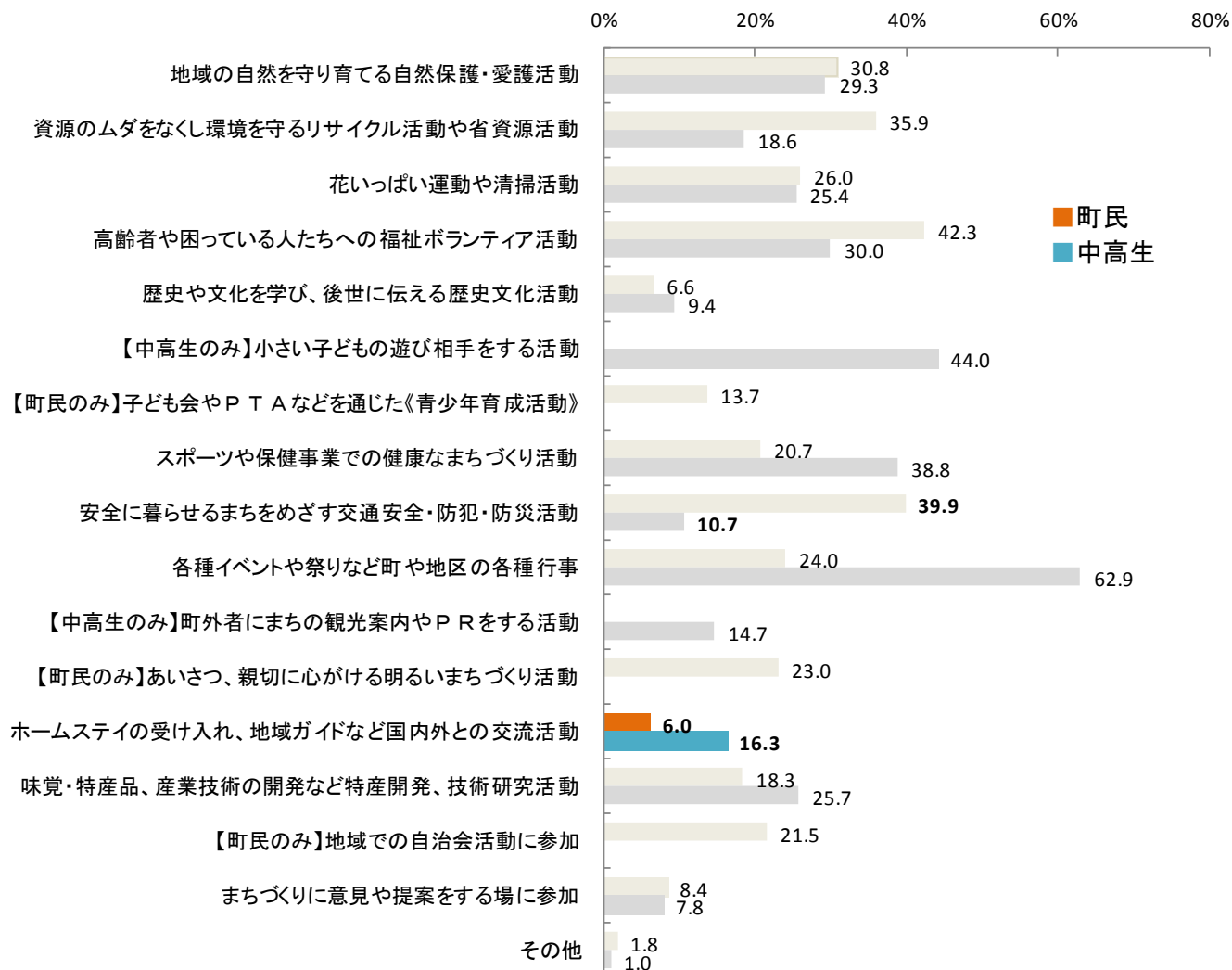


9 国内外交流

(1) 関連グラフなど

【問7】参加したい(できる)まちづくり活動(あてはまるものすべて選択(上段:町民、下段:中高生))



(2) 現計画の検証

施策	主な取り組み	進捗状況	問題・課題	今後の見通し、方向性
国内交流の推進	観光・物産交流の推進	現在、観光・物産交流で際立つ取り組みは、実施されていない。	今後、観光・物産交流の推進が可能なのか検討が必要であること。	左記のとおり検討を行い、その結果から今後の方向性を考えたい。
	移住・定住受入れ体制の充実	現在、移住・定住を受け入れるための住宅はないが、美幌の暮らしやすさを体験してもらう“ちょっと暮らし”事業を推進し進め一定の実績を得た（H25 利用実績 5 組 14 名、H26 利用希望者 8 組 17 名）。H25 年度には、長期滞在型観光事業においてポスターおよびパンフレットを作成し広く反響を得た。	直接の移住者・定住者の獲得には至っていない。また、地元との交流を望む声に対し体験プログラムを考えてゆかなければならない。	移住・定住に関するニーズや課題を把握するため、ちょっと暮らし利用者に対しアンケートを実施し検討の参考としたい。また、交流・体験プログラムを用意するため、今まで以上に様々な団体との連携を図りその基盤を構築する。
国際交流の推進	国際交流に関わるボランティア登録整備充実	登録者については、ホームステイの受け入れ等協力していただいている。	国際交流でのボランティアという内容であり、言葉の壁等により登録が進まない。	登録者が負担とならないよう支援、協力が必要。
	姉妹都市を中心とした日常における交流の支援充実	美幌ケンブリッジ交流事業では、平成 24 年度にケンブリッジから訪問団が来町しており、平成 26 年度には美幌町からケンブリッジへ訪問して交流を深めている。高校生短期交換留学事業では、毎年 1～2 名の交換留学を実施している。	高校生短期交換留学事業について、今まではケンブリッジの 2 校と交互にその年での交換留学を実施していたが、平成 26 年度からケンブリッジ高校のみとなり、その年での交換留学が隔年となってしまった。	美幌ケンブリッジ交流事業では、ケンブリッジから平成 28 年度に訪問予定であり、受け入れ体制を整える必要がある。高校生短期交換留学事業では、美幌高校としても必要としている事業であり、留学人数の増など検討が必要。

(3) 意見、提案

☺ : 小学生 ☺ : 中高生 ☺ : 育児ママ ♀ : 自衛隊 ※ : 高齢者 ● : 町民 ○ : 職員

- 東京日野市との交流は子供の時の思い出ですが、一生の思い出です。ぜひ日野市とは続けてほしいです。（子供達に旅行費の補助を…。）（女性・40 代）
- 国際交流を積極的に進め、短期長期の留学生を受け入れる。（男性・40 代）
- 海外交流の推進。ロシアとの経済交流を図る（女満別空港の活用）